

開倫塾春期講習会参加の常識

ー開倫塾の春期講習会で勉強の仕方も身に付け、新学年を迎えようー

開倫塾

塾長 林明夫

1. はじめに

- (1) みなさん、こんにちは(こんばんは)。開倫塾の塾長の林明夫です。開倫塾によろこそいらっ
しゃいました。
- (2) 開倫塾は 31 年前につくられた学習塾ですが、創業のときから今まで、すべての塾生に教え
ているのは、学力向上のための教科の勉強と効果の上がる勉強の仕方です。
- (3) この春期講習会でもこの 2 つをバッチリお教えしますので、身に付けて下さいね。

2. 効果の上がる春期講習会への参加の仕方ー講習会参加の常識ー

- (1) 安全のために、家から開倫塾に来るまで、また、開倫塾から家に着くまで全員が「マスク」
の着用を。
- (2) 授業の 5 分前には着席し、静かに息を整える。
- (3) 忘れ物はしない。忘れ物をしないためには、カバンの中はいつも「整理」つまり不要なもの
は処分すること、「整頓」つまりカバンの決まったところに、決まったものを入れておくこと。

御参考

* 「5S」を身に付け、実行しよう

「5S」とは「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「躰」(だれに言われなくてもやること)

- (4) 授業中におしゃべり、ケータイ、ボーッとしていること、歩き廻ること、授業以外のことを
することは一切禁止です。
- (5) 食べ物や飲物は、授業中は絶対に机の上に置かないこと。カバンの中に入れておくこと。ゴ
ミはすべて持ち帰ること。
- (6) トイレに行きたいときはガマンをせず、先生に申し出ること。家を出る前や授業前に済ませ
ておくこと。
- (7) 授業中は、手を机の上に置き、先生の目を見てよく話をお聞きすること。
- (8) 大事なことは、ノートにどんどんメモを取ること。

御参考

授業中にノートにメモが取れるのは大事な能力。上級学校や社会に出て役に立つ能力。
授業中に取り続けたノートを、授業後に整理することができるのも大事な能力。ノートの内
容をスミからスミまで正確に覚えるのはもっと大切な能力。

*

- 1.
- 2.
 - (1)
 - (2)
 - ①
 - ②
 - (ア)
 - (イ)

* 1. 2. の内容を分類するときは

(1)(2)をまず用いて、その次に①、②を用いること。

①、②を(1)(2)よりも前に用いないこと。

ーノートを取り続けることのできる能力を身に付けようー

(9) わからないことばは授業前や授業中、授業後に辞書を引いてどんどん調べ、調べたことはノートにメモ。メモしたことは正確に覚えよう。

(10) 授業を聞いてわからないことは、必ずノートにメモをしておく。授業中、または授業後に、必ず先生に質問すること。わからないままにして帰宅しないこと。

(11) 授業終了後は教室が空いていたらすぐに帰らないで、その日の復習をすること。すぐに帰るときには、帰宅後にその日の復習と翌日の予習をすること。

御参考

辞書は絶えず持ち歩き、わからないことばに出会ったら気持ちが悪くて先に進めないと考え、どんどん辞書で調べよう。

学力の高い人ほど辞書をよく引き、調べたことをメモし、メモしたことを正確に覚える。学力の低い人は辞書を持ち歩かない。辞書を用いることができるかどうかで、学力の高い低いは決まると私は考えます。

① 復習とは何か。その日のテストをすべてやり直すこと。問題もすべてもう一度解いてみること。わからないことば・語句は辞書で調べ、その意味をノートに書いておくこと。辞書を持っていない人は早めに本屋さんで購入すること。わからない内容は、各教科の「学年別参考書」を辞書代わりに用いてよく調べること。

御参考

各教科の学年別参考書を持っていない人は、少し大きめの本屋さんで購入すること。

＊辞書や各教科の学年別参考書は、武士の刀と同じ。持っていなければ「勝負」にならない。学校の教科書だけ、開倫塾のテキストや問題集だけでは話にならない。必ず買い求めて下さい。(古本でももちろん OK です)

② 「定着のための三大練習」をするのが復習。

御参考

この春期講習会中に、「学習の 3 段階理論」を正確に「うんなるほど」と十分に「理解」し、身に付け(「定着」)、毎日の勉強に役立てる(「応用」)ことが大事です。開倫塾の先生方から、この「学習の 3 段階理論」だけはもういいというくらい教わって、正確に身に付けて下さい。

③ 翌日の予習とは何か。テキストを読み、「うんなるほど」と「理解」していくこと。よくわからない「ことば」や「語句」、「内容」に出会ったら、「辞書」や「学年別参考書」を用いて調べる。調べた内容はノートにメモ。メモしたことは、その場で、できるだけ正確に覚えてしまうこと。計算や問題があったら、すべてノートにやってみること。(問題も書いておくのが、学力の高い人のやる方法)

御参考

予習は何のためにするのか。よくわからないところをはっきりさせて授業に臨むために行うのが、予習の目的。授業は、よくわからないところを解決するために出る。これが、学力の高い人の勉強の仕方。予習は先の先までどんどんすること。

予習をやりながら「定着のための三大練習」をしっかりと行っておけば、学力は急激に上昇します。授業の前にほとんどの内容が身に付いていますから、当然ですね。これが勉強のコツ。偏差値 65、70 突破のコツです。

3. おわりにー新学年の教科書を手にした瞬間から予習をスタートしようー

- (1)開倫塾の春期講習会で、効果の上がる勉強の方法を身に付けたらどうするか。
- (2)私は、新学年になり学校から教科書や資料集などが配付されたら、その瞬間からすべての教科について、教科書や資料集を声を出してどんどん読み始める、つまり予習することをお勧めします。
- (3)勉強に遠慮は不要です。誰に遠慮することなく、先の方までどんどん教科書を声を出して読む。意味のわからない「ことば」や「語句」があったら、辞書で調べる。数学や理科などで計算があったら、ノートにどんどん解いてみる。サブノートをつくる。このような本格的な予習を1科目でも多くしましょう。教科書1冊分の予習を終えてしまう科目が、ゴールデンウィークが終わる頃までにいくつ出るかを楽しみにしましょう。
- (4)音楽や美術、技術・家庭、保健体育の教科書も、小説や物語を読むように全部読んでしまいましょう。ゾクゾクするくらい面白いですよ。
- (5)最後に一言。東日本大震災で大変な思いをなさった方々のことを思い、皆様も今やるべきことは何かをお考え下さい。こんな時こそ、まじめな態度で真剣に机に向かうのも一つの生き方ではないかと私は思います。

避難生活をしていらっしゃる方が身近にいらっしゃったら、できるだけ親切にしてあげることも人間として大切だと思います。「困ったときはお互い様」ですからね。

それでは、がんばって春期講習会で勉強して下さい。

2011年3月29日